

第 19回さいたま市立病院経営評価委員会議事録

日時	令和2年7月2日(木) 14時～16時30分
場所	さいたま市立病院 アッセンブリーホール
出席者	一般社団法人浦和医師会会長 登坂委員長 九州大学名誉教授 尾形委員(web) 川崎市病院事業管理者 増田委員(web) さいたま市自治会連合会副会長 鈴木委員
事務局	保健福祉局 木村保健福祉局長 青木保健福祉局理事 市立病院 堀之内院長、小山副院長、増田副院長 市立病院病院経営部 細沼部長 (病院総務課)越田課長、坂口課長補佐兼総務係長、高橋課長補佐兼職員係長、松本主査 (病院施設管理課)赤沼参事兼課長、池田管理・防災係長、今井施設係長、石田主任 (病院財務課)浅野課長、富田課長補佐兼財務企画係長、廣町調達係長、平林主査、石橋主査、永野主任 (医事課)若林参事兼課長、栗原課長補佐兼医事企画係長 (情報管理室)増田情報管理室長、野々村看護師長、福田室長補佐(患者支援センター)安西看護部長兼患者支援センター所長、日向副所長、竹村主査 市立病院診療部 (薬剤科)永堀科長 (中央放射線科)藤田技師長 (中央検査科)手塚技師長
次第	1 開 会 2 議 事 (1)中期経営計画の達成状況に対する評価について 3 その他 4 閉 会
配付資料	・第 19 回さいたま市立病院経営評価委員会次第 ・さいたま市立病院経営評価委員会委員名簿 ・配席図

	<p>・さいたま市立病院中期経営計画の達成状況について 【令和元年度評価(案)】 ・A3版 項目評価一覧</p>
<p>1 開会 浅野病院財務課長</p>	<p>それでは定刻となりましたので、ただ今から、「第19回さいたま市立病院経営評価委員会」を始めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様方につきましては、ご多忙の折にもかかわらず当委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>申し遅れましたが、私、本日の進行を務めさせていただきます、病院財務課長の浅野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず始めに、本日の資料の確認をしたいと思います。</p> <p>お手元の資料でございますが、</p> <p>「第19回さいたま市立病院経営評価委員会次第」が1点、続きまして、「さいたま市立病院経営評価委員会委員名簿」が1点、続きまして、「配席図」が1点、続きまして、A4版の冊子になってございます、「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況に対する評価について【令和元年度評価(案)】」が1点、最後にA3版折込資料となっております評価項目一覧が1点、以上でございます。本日はこれらの資料を使いながら進行させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議で開催とさせていただきます。</p> <p>ご発言の際には、画面下でございますマイクのボタンを押してご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは開会に先立ちまして、院長の堀之内よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>堀之内院長よろしくお願いいたします。</p> <p>院長の堀之内でございます。本日は大変お忙しい中、当院の経営評価委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。Web会議となりますので、着座にてご挨拶申し上げます。</p> <p>当院では昨年末に新病院開院となり、新病院の主な取り組みとして、救急医療の充実、急性期医療機能の向上、地域がん診療連携拠点病院としての整備、周産期・小児医療センターとしての強化、感染症への対応、患者支援センターの設置等を行っているところです。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、病院経営は非常に厳しい状況に立たされております。</p> <p>本日も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web開催とさせて</p>
<p>堀之内院長</p>	

<p>浅野病院財務課長</p> <p>委員一同 浅野病院財務課長</p>	<p>いただきました。</p> <p>さて、本日ですが、当院の中期経営計画の3年目に当たります令和元年度の実績結果につきまして、委員の皆様方にご評価をいただきたいと考えております。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、大変限られた時間ではございますが、当院の中期経営計画の実績内容に対し、忌憚のないご意見を頂戴したいと存じますので、本日はよろしくお願いたします。</p> <p>院長、ありがとうございました。</p> <p>それではこれから議事に入りますが、その前に委員の皆様方にご了解いただきたいことがございます。</p> <p>さいたま市立病院経営評価委員会設置要綱第7条によりまして本会議は原則公開となっております。公開となった場合には会議録、資料等が各区役所の情報公開コーナーや市のホームページで市民の閲覧に供されることとなります。なお、委員の皆様の過半数の同意があった場合には非公開とすることもできますが、本日の会議は公開ということによろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>特にご異議なしということで、本日の会議は公開とさせていただきます。</p> <p>また本日は青地委員から所用により欠席との連絡をいただいておりますので併せてご報告申し上げます。</p> <p>それでは議事に入らせていただきますので、登坂委員長よろしくお願いたします。</p>
<p>2. 議事 登坂委員長</p>	<p>引き続き委員長を務めさせていただきます登坂でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。</p> <p>次第をご覧ください。</p> <p>議事(1)「中期経営計画の達成状況に対する評価について」です。</p> <p>評価の進め方ですが、まず、取組項目について評価を行います。次に収支計画・主要経営指標の達成状況について、委員の皆様からご意見を伺ったうえで、全体的な評価を行っていきたく思います。</p> <p>また、項目評価は大項目ごとに行いますので、事務局から大項目を一区切りとしてご説明いただき、その後、委員の皆様からご意見をいただきたいと思ひます。</p> <p>なお、大項目は9項目ありまして、1項目当たりの質疑応答は10分</p>

<p>浅野病院財務課長</p>	<p>程度と考えておりますので、委員の皆様には円滑な議事の進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>まず、「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」につきまして、事務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは事務局よりご報告させていただきます。</p> <p>まず資料の見方について、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>恐れ入りますが、A3版の評価項目一覧をご覧ください。こちらにつきましては、お手元にごございます冊子の「さいたま市立病院中期経営計画の達成状況に対する評価について【令和元年度評価(案)】」の取り組むべき項目につきまして一覧にしたものでございます。</p> <p>こちらをご覧くださいますと、表の一番左のほうに、「目指すべき方向性」とございます。こちらは大きく2つに分けてございまして、「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」と「(2)健全な経営基盤の確立」の大きく2つに分かれております。</p> <p>さらに、こちらの目指すべき方向性は、大項目に分かれております。例えば、「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」の中身をご覧くださいますと、「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」から始まりまして、「④病診連携の強化」まででございます。</p> <p>さらに大項目は、細かく中項目に分かれてございます。例えば、「①公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」につきましては、「ア施設整備の推進」から始まりまして、「カ災害拠点病院としての体制整備」まで分かれております。</p> <p>さらにその中項目につきましては、評価ウエイトを設定してございます。評価ウエイトにつきましては、お手元の表の右下、「④中項目に対する評価ウエイトの設定」に基づいて設定されております。こちらは重要度と難易度のマトリックスになってございまして、重要度Ⅰ、Ⅱと難易度Ⅰ、Ⅱとに分かれてございます。</p> <p>また上のほうに戻っていただきますと、ウエイトの横に小項目というのがございます。こちらは中項目に対する具体的な取組内容として設定してございます。例えば、中項目「ア施設整備の推進」につきましては、小項目「1新病院建設事業の円滑な推進」というところで設定しているものでございます。</p> <p>さらにその隣に、頁という項目がございます。こちらは冊子の頁とリンクしてございます。こちらの頁を参考に冊子を見ていただければと思います。</p>
-----------------	--

ます。

さらにその隣の令和元年度目標は、こちらが設定した目標となり、さらにその隣の令和元年度実績が実際に取り組んだ実績となります。例えば、小項目「1新病院建設事業の円滑な推進」につきましては、目標が事業の実施、実績も実施となっております。

さらにその隣の小項目の評価でございます。こちらにはbと記してございます。こちらは何かといいますと、下のほうの評価方法①の評価指標をご覧ください。こちらをご覧くださいますと、SからDまで5段階に分かれてございます。

例えばSですと、中期経営計画の目標を大幅に上回り、特に優れた成果が認められるとあります。Bをご覧くださいますと、中期経営計画の目標を概ね目標どおり、実績値が目標値に対して概ね80%といったように設定してございます。さらに上のほうに戻っていただきますと、評価点数がでございます。こちらの評価点数は下の評価指標の②をご覧くださいますと、sの10点からdの0点まで分かれていますところでございます。

さらに上のほうをご覧くださいまして、評価点数の合計というのがございます。例えば「①公立病院として地域住民から求められる医療機能」の提供のところをご覧くださいますと、61.3と記されてございます。こちらは①小項目の評価点数の合計となっております。さらにその隣でございますが、評価点数／満点、いわゆる割合でございますが、こちらが何かと申しますと例えば大項目①では大項目の下の欄のところ括弧書きで満点115点と書かれてございます。こちらがこの項目の満点、それに対する評価点数61.3ということで、こちらのパーセンテージは得点率となります。この場合で言いますと、53%ということになります。

さらにその隣の病院評価の欄をご覧くださいますと、①につきましてはBと記載してございます。これは何かといいますと、欄外参考「③満点評価点数に占める小項目評価点数の割合による大項目」をご覧くださいますと、パーセンテージに応じてSからDまで記号が示されており、これに対応した評価となります。そして最後でございますが、その隣の外部評価について、ただ今空欄になってございますが、こちらにつきましては本日の報告を基に委員の皆様からご意見を頂戴してこちらのほうの評価を記載してまいります。

この表の説明については以上です。

恐れ入ります、続きまして冊子のほうの見方について簡単にご説明

いたします。お手元の冊子をご覧いただきましてページをおめくりいただきますと、細かい表がございますが、こちらは先ほどのA3版の表と同じものとなります。

続きまして1の評価項目をおめくりいただきますと、上のほうに目指すべき方向性ということで、「(1)地域の基幹病院としての地域医療における中核的な役割」とあり、そのとなりに大項目、病院評価、病院評価スコア、委員会評価となっております。こちら先ほどのA3版の表のものを落としたものとなります。

今回は、こちらの欄の委員会評価及び委員会による評価修正理由の欄がバーになっております。こちらにつきましても本日の皆様のご意見を頂戴しまして、それを踏まえて記載のうえ、次回の会議で報告させていただきます。

その下の欄、中項目「ア施設整備の推進」から始まる欄につきましては、令和元年度の実績内容とその評価についてでございます。本日はこちらを中心に説明させていただきます。また、その下でございますが、年度が平成29年度から令和2年度まででございます。こちらにつきましては、過年度の実績内容となっております。なお令和2年度につきましては、現在取組を行っているところでございますのでバーとなっております。

見方についての説明は以上となります。

それでは早速各大項目について説明させていただきます。

また、事務局の職員に申し上げます。委員の先生から質問があった場合、ipadでお答えしたいと思いますので、お答えする場合は挙手のうえお願いします。

それでは、恐れ入りますが冊子と表を合わせてご覧いただきながらご説明させていただきます。

なお、小項目につきましては、1から50と大変多くございます。今回につきましては時間の兼ね合いもございますので、目標達成または目標を上回っているA以外のS、B、C、Dについてご説明させていただきます。

それでは早速冊子の1ページをご覧ください。

まず大項目が「① 公立病院として地域住民から求められる医療機能の提供」についてでございます。小項目につきましては、「1 新病院建設事業の円滑な推進」、令和元年度の実績につきましては実施、それに対する実績としては実施となっており、評価はbとなっております。

説明としましては、予定通り12月末に新病院を開院することが出来

たところではございますが、当院の脇にございますスロープ棟の完成が11月となったことに伴いまして、既存病院解体工事・インフラ施設切替工事の修正設計業務の契約が12月になったこと、環境影響評価事後調査書の作成が3月になったことから、概ね達成のb評価としております。

2ページ目をご覧ください。

小項目「2 急性期一般入院料1の維持」ですが、目標は維持、それに対する実績も維持でございます。こちらは、7対1看護配置について月毎に調整を行ったところですが、結果として年間を通して月平均1日当たりの看護配置数は1日看護配置必要数を上回っていたところではございますが、新病院開院後の夜勤時間の調整が困難であり、急性期一般入院料1を維持できない期間がありました。そのため、b評価としたところでは。

続きまして、4ページ目をご覧ください。

小項目「4 手術件数の増加」ですが、目標は5,280件、それに対して実績が4,985件となり、b評価としております。

説明といたしましては、効率の良い手術室運営に努めましたが、年末の病院移転時に症例を減らし、安全な移転を心掛けたことから、若干症例数が減ってしまったということがございます。新病院におきましては、手術室が増え、手術数を増やすことが出来たところですが、若干目標を下回ったため、b評価としたところでは。

続きまして、5ページ目をご覧ください。

小項目「5 外保連試案及び特定内科診療の項目達成数」ですが、目標は5項目、それに対して実績が4項目となっており、b評価としております。

説明としましては、特定内科診療については3項目全てを達成したものの、一部未達成の項目がございましたので、b評価としたところでは。

続きまして、7ページ目をご覧ください。

小項目「7 がん診療連携拠点病院指定の維持」ですが、目標については維持、それに対する実績についても維持、となりましたので、b評価としております。

説明といたしましては、予定通り緩和ケア研修会の開催や現況報告書の提出など指定の実施は出来たところではございますが、指定要件について一時未充足となる項目もあったことから、b評価としたところでは。

続きまして、8ページ目をご覧ください。

登坂委員長	<p>小項目「8 放射線治療処置件数の増加」ですが、令和元年度の目標4,470件に対して実績は4,063件となっておりb評価としております。</p> <p>説明といたしましては、移転前のやむを得ない業務縮小によりまして、第2、第3四半期の件数が振るわなかったものの、移転後の第4四半期については新規施設を用いた診療により、概ね目標値を達成することが出来たことからb評価としたところ です。</p> <p>続きまして、9ページ目をご覧ください。</p> <p>小項目「9 化学療法実施件数の増加」ですが、令和元年度の目標は5,400件、それに対する実績は4,787件となり、b評価としております。</p> <p>説明といたしましては、目標に対して88.6%の達成度となっているところではございますが、こちら移転事業により診療縮小期間があったこと及び、令和2年2月より顕在化した新型コロナウイルス感染症の影響により、実績が目標値を下回ったためb評価としたところ です。</p> <p>続きまして、資料14ページ目をご覧ください。</p> <p>小項目「14 災害時における医療体制の充実」ですが、令和元年度の目標が実施、それに対する実績は実施、評価についてはb評価としております。</p> <p>説明といたしましては、新病院における事業継続計画(BCP)を設計するにあたり、レベル別のエリア配置場所についてコアメンバーの意見を確認することが出来たところでございます。こちらにつきましては、令和2年度も引き続き事業継続計画の修正を行っていくことから、b評価としたところ です。</p> <p>以上、大項目①についての説明でございました。</p> <p>恐れ入りますがA3版の表をご覧ください。</p> <p>大項目①をご覧いただきますと、評価点数の合計は、aが7つbが8つであり、合計61.3点となっております。それに対するパーセンテージは53%、病院評価はBとなっております。こちらにつきまして委員の皆様のご意見を頂戴できればと思います。</p> <p>ご審議のほどよろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価では、a評価が7件、b評価が8件で、平均値による評価はBとなっております。</p> <p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
-------	---

<p>増田委員</p>	<p>増田委員、いかがでしょうか。</p> <p>数値目標で出されているものも全般的にbが多いという印象ですが、ご説明にもありましたように病院移転によりその間は患者数等が減ったことや、コロナの影響もあり、目標との比較ではbにならざるを得ないのかなと思いました。</p> <p>やむを得ずという印象でございます。</p> <p>それで、いくつかお伺いしたいことがございます。</p> <p>5ページの「5 外保連試案及び特定内科診療の項目達成数」が平成30年度、平成29年度が4項目ということでございますけれど、これは外保連試案技術度のD、E群の手術実施割合が少ないということと理解するのですが、周囲の要請や病院の環境から難易度の低い手術をやらざるを得ないということで、やむなく難易度の高い手術実施割合が低くなっているということもあるのでしょうか。それでしたら、やむを得ない状況なのかなと思いました。</p> <p>この点が疑問でしたので、よろしく願いいたします。</p>
<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>堀之内院長、いかがでしょうか。</p> <p>院長の堀之内でございます。ご指摘のように、難易度の低い手術、例えばヘルニアとか静脈瘤の手術をやるのですが、それは教育の一環として、当院は外科の基幹施設となっておりまして難易度の低い手術もやっていかないと修練も進んでいかないとことがありまして、そのため割合として高難度手術の割合が低くなってしまうということがございます。</p> <p>これに関しては、難易度の高い手術を今後減らさないようにやっていくということが必要だと考えています。</p>
<p>登坂委員長 増田委員</p>	<p>増田委員、いかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それから、2ページ「2 急性期一般入院料1の維持」ですが、入院基本料1(7対1看護配置)が一時的に維持できない期間があったということですが、これは新病院になって3か月のうちどれくらいの期間で、これは実際に一般入院基本料を少し落とすことが必要だったのか、それとも一時的なので平均値で大丈夫ということで収入には影響がなかったのかそのあたりを教えていただければと思います。</p>
<p>登坂委員長 若林医事課長</p>	<p>事務局お願いします。</p> <p>医事課長の若林と申します。ご質問ですが、維持できなかった期間としましては、2か月ほどございまして、減算した内容となっております。</p> <p>ひと月2~3千万円程の減収となっております。以上です。</p>

<p>登坂委員長 増田委員 登坂委員長 尾形委員</p>	<p>増田委員、他にございますか。 ありません。 それでは、尾形委員、いかがでしょうか。 全体として、小項目の評価については概ね適切かと思えます。 そのうえで2点質問させていただきたいのですが、ひとつは、4ページの「4 手術件数の増加」についてですが、新病院では手術室も増えて手術件数も増えたということになっています。これは大変結構なことだと思いますが、新しい手術室を实际使われてみて、使い勝手等なにか感想があれば伺いたいのと、もうひとつは14ページ、「14 災害時における医療体制の充実」が目標に対してbになっていますが、成果・課題等を見るといろいろやっておられるようなのですが、そのうえでbとしたということはどういう理由なのか、その2点聞かせていただければと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>それでは、手術室の利用につきましては堀之内院長お願いします。 院長の堀之内でございます。手術室の利用に関しては私から説明いたします。 新病院開院にあたりまして、徐々に 3月までは看護師さんの数等が、旧病院とほぼ同じでしたので、十分に活用できなかったところがございます。 4月からは新看護師の数も増やしたのですが、新しく任用した若い看護師さんが多く、これがまだ習熟していないので、もう少しこれから伸びていこうと考えています。 施設的には非常にいいものが出来まして、手術するドクター側、看護師さん、コメディカルが使用している中で特に問題はないと考えています。</p>
<p>赤沼病院施設管理 課長</p>	<p>病院施設管理課長の赤沼と申します。 当初事業継続計画（BCP）を令和元年度中に策定予定でしたが、策定したものの改定の余地があったため、b評価としました。</p>
<p>小山副院長</p>	<p>副院長の小山でございます。災害対策担当をしております。 災害対策に関しては例年トリアージ訓練をやっておりまして、万全の対策はしているのですが、一昨年はBCPを策定し、そのうえでトリアージ訓練を実施しました。 反省として、昨年度ということになりますと、引っ越しがございまして、トリアージ訓練は出来ませんでした。というのは、古い病院で訓練をしてもすぐに新しい病院に移転してしまうということ、もう一つは、引っ越しそのものが一大事業でそれ自体が災害対応のようなものだったので、昨</p>

<p>登坂委員長 尾形委員</p>	<p>年度はトリアージ訓練を実施しませんでしたので、事務局としてbにしたのかもしれませんが、個人的にはaでもよかったのではないかと考えています。以上です。</p> <p>尾形委員、いかがでしょうか。</p> <p>分かりました。感想ですが、病院評価説明ではかなりいいことが書いてあったので、評価をした理由が分かるようにしていただいたほうがいいかなと思います。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、鈴木委員何かございましたらお願いします。</p>
<p>鈴木委員 登坂委員長</p>	<p>ありません。</p> <p>それでは、ご意見を伺いましたので、事務局案のとおりB評価ということによろしいでしょうか</p>
<p>委員一同 登坂委員長</p>	<p>はい</p> <p>ご異議なしということで、B評価とします。</p> <p>それでは、続きまして大項目「②医療の質の向上」に移りたいと思います。</p>
<p>浅野病院財務課長</p>	<p>事務局より説明をお願いします。</p> <p>恐れ入りますがA3版の表をご覧ください。大項目②「医療の質の向上」については、小項目評価全てaとなっております。</p> <p>補足でございますが、「16 病院機能評価の受審」につきましては、平成30年度に受審を行ったということで、今年度及び来年度の評価は無しとさせていただきます。</p> <p>こちらの評価はすべてaとなっておりますので、簡単にご説明いたします。</p> <p>冊子の16ページをご覧ください。</p> <p>まず、大項目②「医療の質の向上」についてのうち、小項目「17 ISO15189の取得」につきましては、目標は維持、実績も維持となっております。</p> <p>説明といたしましては、ISOの適合を維持するために品質目標、品質計画に基づいて継続的な改善を行ったということでa評価としたところです。</p> <p>続きまして、17ページをご覧ください。</p> <p>「18 チーム医療の推進」ですが、こちらにつきましては、目標は継続、実績も継続となっておりますため、a評価としております。</p> <p>その説明としましては、チーム医療推進委員会を年3回開き、各チームの活動状況や現在の課題について情報共有を行ったほか、チーム</p>

登坂委員長	<p>医療の推進を図るため今後の方向性についても検討を行ったため、a評価としたところです。</p> <p>続きまして、18ページをご覧ください。</p> <p>「19 医療安全関連の研修会・セミナー等の開催件数」ですが、こちらは目標が年8回、目標に対する実績も年8回となっていることから、a評価としております。</p> <p>説明といたしましては、全職員を対象とした研修会を年2回、医療職の安全講習会を年2回、その他感染対策研修会を年3回、手指消毒に関する全職員対象のキャンペーンを年1回行ったことから、a評価としたところです。</p> <p>続きまして、19ページをご覧ください。</p> <p>小項目「20 医療安全に関する改善取組の推進」ですが、目標が年12回、それに対する実績が年12回となっており、a評価としております。</p> <p>説明としましては、毎月定例で委員会を開催するとともに、週1回医療安全管理室においてミーティングを行うことによって、インシデントをタイムリーに把握し改善策を検討し院内に周知することが出来ました。</p> <p>また、院内の感染対策委員会を毎月開催したことや外部の4病院との感染防止対策加算カンファレンスを計12回実施しました。以上のことからa評価としたところです。</p> <p>最後に、20ページをご覧ください。</p> <p>小項目「21 クリニカルインディケーターの作成・公表・活用」ですが、目標が実施、実績も実施となり、a評価としております。</p> <p>説明としましては、公益社団法人全国自治体病院協議会が実施している「医療の質の評価・公表等推進事業」へ参加し、医療の質の評価・公表を4回行ったため、a評価としたところです。</p> <p>恐れ入りますが、A3の表をご覧ください。</p> <p>大項目②「医療の質の向上」については、a評価が5件となり、「評価点数合計」は28.7点、満点に対する割合は70%、「病院評価」はAとしております。</p> <p>大項目②「医療の質の向上」についての説明は以上です。</p> <p>ご審議のほどよろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価では、a評価が5件で、平均値による評価はAとなっております。</p> <p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお</p>
-------	--

<p>増田委員 登坂委員長 尾形委員</p>	<p>願います。 増田委員から願います。 私からは特にありません。 尾形委員いかがでしょうか。 私も小項目評価について異論はございません。1点だけ教えていただきたいのですが、「21クリニカルインディケータの作成・公表・活用」について、全自病の事業に参加されているということですが、そのデータから当院の特色というのはいかに考えておりますか。</p>
<p>登坂委員長 増田情報管理室長</p>	<p>それでは、事務局願います。 情報管理室長の増田と申します。よろしく願います。 建物が老朽化している割には、患者満足度がほかの病院と比べて高めであったということがございました。以上です。</p>
<p>堀之内院長</p>	<p>院長の堀之内でございます。このクリニカルインディケータを参考に、当院としては、全体的にサービスを増やしていくということで今後も頑張りたいと思っております。</p>
<p>登坂委員長 尾形委員 登坂委員長 鈴木委員 登坂委員長 委員一同 登坂委員長</p>	<p>尾形委員いかがでしょうか。 ありがとうございました。 鈴木委員いかがでしょうか。 ありません。 それでは、事務局案のとおりA評価ということでよろしいでしょうか はい。 ご異議なしということで、A評価といたします。</p>
<p>浅野病院財務課長</p>	<p>続きまして、大項目「③利用者サービスの向上」に移りたいと思いません。事務局より説明を願います。 それでは、事務局より大項目③「利用者サービスの向上」についてご説明いたします。 冊子の21ページをご覧ください。 小項目「22 入院患者満足度の向上」ですが、令和元年度の目標が90%以上、それに対する実績が83%となったことからb評価としております。 説明としましては、入院患者を対象に、スタッフの対応及び病院の療養環境等についてアンケート行い、前年度との比較検証や、満足度の傾向及び課題を整理し、病棟外来運営委員会で院内の情報共有化を図り、改善策の検討を行いました、「入院患者満足度」が目標を若干下回ったため、b評価としたところで。 続きまして、25ページをご覧ください。</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>小項目「26 ホームページアクセス件数の増加」ですが、令和元年度の目標が月34,000件、それに対する実績が月60,000件となっており、s評価としております。</p> <p>説明といたしましては、新病院開院にあわせ、院内各所管に更新依頼を積極的に行った結果、月当たりのアクセス件数が前年度比9%増加の約6万件となり、目標値を大幅に上回ったため、s評価としたところ です。</p> <p>恐れ入りますがA3版の表をご覧ください。</p> <p>大項目③「利用者サービスの向上」につきましては、病院評価では、s評価が1件、a評価が3件、b評価が1件となり、「評価点数合計」は18.2点、満点に対する割合は63%、「病院評価」はAとしております。</p> <p>大項目③「利用者サービスの向上」についての説明は以上です。ご審議のほどよろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価では、s評価が1件、a評価が3件、b評価が1件で、平均値による評価はAとなっております。</p> <p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いします。よろしければ増田委員をお願いします。</p>
<p>増田委員</p>	<p>21ページの「22 入院患者の満足度の向上」についてですが、平成29年度と平成30年度はそれぞれ88%、89%となっていますが、今回は83%と数字的には下がっています。目標が90%なので小項目評価としてはb評価ですが、これはどういったことでしょうか。</p> <p>取組内容を見ると、平成30年度は12月にアンケートを実施していますが、令和元年度は10月に実施しています。これは病院の移転があり、12月は忙しいからということだと思いたしますが、月による違いというのはあるのか教えてほしいと思います。</p> <p>次の小項目「23 外来患者満足度の向上」については、10月の調査で、その前の年は12月の調査なのですが、6%アップしている。これは75%の目標に対して超えているということでa評価となっている。</p> <p>小項目の評価自体はこれでいいと思うが、入院が下がって外来が上がったということについて何かお考えやご説明等ありましたらよろしくお願いします。</p>
<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>堀之内院長をお願いします。</p> <p>院長の堀之内でございます。ご指摘のとおり12月に毎年調査を行っているのですが、新病院への引っ越しがあるため10月に前倒ししました。10月はかなり入院が混んでいたということで、やはり一番満足度に</p>

<p>登坂委員長 増田委員 登坂委員長 鈴木委員</p>	<p>影響があるのは施設やサービスであり、最終的に病院全体の評価を聞くと、十分満足や満足の回答が減ってしまったということがございました。</p> <p>外来に関しては、外来化学療法の運用において待ち時間を減らしたということもあり、少し上がったというように考えております。</p> <p>増田委員、今の回答でよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>では、鈴木委員おねがいします。</p> <p>外来ですが、新病院になり、診療を受け、1階の精算機で支払いをするのですが、支払いの効率が良くなったことがすごくいいですね。</p> <p>また、今年度の公開講座についてですが、新型コロナウイルスの影響もあり、現在開催できていないのだと思います。今後、開催されていくのだと思いますが、予定はどうなっているのでしょうか。</p> <p>また、公開講座が無い中で、新型コロナウイルス感染症の予防ですとか、そういった知識を欲しいときには、病院の先生もお忙しいでしょうけれども、そういうときにはある程度教えていただけるのでしょうか。</p> <p>今すぐどうというわけではないのですが、そういう要望があることをご理解いただけますと幸いです。</p>
<p>登坂委員長 堀之内院長</p>	<p>堀之内院長いかがでしょうか。</p> <p>院長の堀之内でございます。現実的に6月13日まで県・市の方針で30人以上の集会が出来ないということがあって、研究会や公開講座が難しい状態でした。</p> <p>現在はそういう制限はありませんが、集まっていただくと密になってしまうということもあって、感染対策については市民の皆様の関心も高いと考えていますが、もう少し様子を見てからというように考えています。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>今すぐということではないので、やはりホール等をご用意いただき、密にならない状態にはできると思うので、よろしく願います。</p>
<p>堀之内院長 登坂委員長 尾形委員 登坂委員長</p>	<p>ありがとうございます。努力いたします。</p> <p>尾形委員、いかがでしょうか。</p> <p>この部分については、結構でございます。</p> <p>これからのさいたま市立病院に対するご意見があったわけですが、特別に修正の必要もないということで、事務局案のとおりA評価ということでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同 登坂委員長</p>	<p>はい。</p> <p>ご異議なしということで、A評価といたします。</p> <p>続きまして、大項目「④病診連携の強化」に移りたいと思います。事</p>

<p>浅野病院財務課長</p>	<p>務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは、大項目④「病診連携の強化」について、ご説明いたします。</p> <p>冊子の27ページをご覧ください。</p> <p>小項目「28 登録医療機関数の増加」ですが、令和元年度の目標が25件、それに対して実績が21件となっており、b評価としております。</p> <p>説明といたしましては、分娩取扱い施設は年々減少しており、登録医療機関数は昨年度と同様の21件は維持できたものの、目標の25件には届かなかつたため、b評価としたところです。</p> <p>続きまして、冊子の28ページをご覧ください。</p> <p>「29 取扱件数の増加・維持」ですが、令和元年度の目標が180件以上、それに対する実績が147件となり、b評価としております。</p> <p>説明といたしましては、セミオープンシステムの現状の把握と評価のため、当院に受診した妊婦のリスク評価の分析を行ったほか、個々の施設を訪問し、リスク評価やニーズについて意見を伺い、連携を図りましたが、目標を下回つたため、b評価としたところです。</p> <p>恐れ入りますがA3版の表をご覧ください。</p> <p>大項目④「病診連携の強化」につきましては、病院の評価では、a評価が4件、b評価が2件となり、「評価点数合計」は27.3点、満点に対する割合は61%、「病院評価」はAとしております。</p> <p>大項目④「病診連携の強化」の説明は以上となります。</p> <p>ご審議のほどよろしく申し上げます。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>市立病院の内部評価では、a評価が4件、b評価が2件となり、平均値による評価はAとなっております。</p> <p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いします。よろしければ増田委員からお願いします。</p>
<p>増田委員</p>	<p>特に評価に関して異論はありません。</p> <p>b評価になった2件ですが、そもそも分娩取扱い施設が少なくなっているということと、出生件数もおそらく全体で少なくなっているということでしょうから、実際に中期経営計画を立てた最初の目標値を途中で変えることはできないので、結果的にbとなってしまっていると思いますが、これは病院の努力が及ばないところだと、このように感じました。以上です。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>尾形委員いかがでしょうか。</p>

尾形委員	<p>今、増田委員がおっしゃったことと関連しますが、産科セミオープンシステムの充実について「28 登録医療機関数の増加」についてbとなっていますが、左側の成果課題の欄を見ますと、今後の事業の進め方については検討していくと書いてありますが、これは例えばどのようなことを考えておられるのでしょうか。</p>
登坂委員長 堀之内院長	<p>それでは院長お願いします。</p> <p>院長の堀之内でございます。産科に関しましては周辺の産科でお産をやめてしまうという施設が増えたということがあり、セミオープンシステム登録医療機関が伸びないということがありますが、新規開業する施設も今年2施設あると伺っておりますので、そのような施設とも連携を強くしていきたいと考えています。</p>
登坂委員長	<p>また、少し離れた地域の施設とも連携していきたいと考えています。ありがとうございます。</p> <p>鈴木委員いかがでしょうか。</p>
鈴木委員 登坂委員長	<p>特にありません。</p> <p>それではいろいろご質問はありましたが、修正意見はありませんでしたので、事務局案のとおりA評価ということでよろしいでしょうか。</p>
委員一同 登坂委員長	<p>はい。</p> <p>ご異議なしということで、A評価といたします。</p> <p>続きまして、大項目「(2)健全な経営基盤の確立」 「①業務改善に関する取組」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
浅野病院財務課長	<p>それでは、A3版の表をご覧ください。</p> <p>(2)「健全な経営基盤の確立」の大項目①「業務改善に関する取組」につきましては2項目ともa評価となっておりますので、先ほどと同じように簡単にご説明いたします。</p> <p>まず、冊子の32ページをご覧ください。</p> <p>小項目「33 院内情報システムの更新」ですが、令和元年度の目標は更新・稼働、それに対する実績は更新・稼働となり、a評価としております。</p> <p>説明としましては、新病院開院に合わせ、医療総合情報システム、情報系ネットワークを稼働させたほか、循環器画像・動画システム、生理検査ファイリングシステム、眼科支援システム及び物流管理システムを稼働させたことから、a評価としたところ です。</p> <p>続きまして、33ページをご覧ください。</p> <p>小項目「34 SPDの導入」ですが、令和元年度の目標は実施、それに対する実績は実施となっており、a評価としております。</p>

	<p>説明としましては物流管理システムのマスタ移行、業務マニュアルの作成、物流管理システムの操作研修、オリエンテーション等予定通り進められたことにより円滑な物流管理に資することが出来たということでa評価としたところです。</p> <p>恐れ入りますが、A3版の表をご覧ください。</p> <p>大項目①「業務改善に関する取組」につきましては、病院の評価では、a評価が2件となり、「評価点数合計」は9.8点、満点に対する割合は70%、「病院評価」はAとしております。</p> <p>大項目①「業務改善に関する取組」についての説明は以上です。ご審議のほどよろしく申し上げます。</p>
登坂委員長	<p>市立病院の内部評価では、a評価が2件で、平均値による評価はAとなっております。</p> <p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いします。よろしければ増田委員からお願いします。</p>
増田委員 登坂委員長 尾形委員	<p>特に質問等はございません。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>尾形委員いかがでしょうか。</p>
登坂委員長 堀之内院長	<p>私も評価については結構だと思うのですが、「33院内情報システムの更新」で電子カルテシステムについてですが、今までのところ問題なく運用されていると考えてよろしいでしょうか。課題等なにかありますか。</p> <p>堀之内院長お願いします。</p>
登坂委員長 堀之内院長	<p>院長の堀之内でございます。今のところ順調に稼働しており、特にトラブルもありません。</p>
登坂委員長 鈴木委員 登坂委員長 委員一同 登坂委員長	<p>鈴木委員いかがでしょうか。</p> <p>特にありません。</p> <p>それでは、事務局案のとおりA評価ということでよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p>
登坂委員長	<p>ご異議なしということで、A評価としたいと思います。</p> <p>続きまして、大項目「②収益確保に向けた取組」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
浅野病院財務課長	<p>それでは、大項目②「収益確保に向けた取組」についてご説明いたします。</p> <p>恐れ入りますが、冊子の38ページをご覧ください。</p> <p>小項目「39 査定率の抑制」ですが、令和元年度の目標0.14%に対してまして実績が0.17%となりましたので、b評価としております。</p> <p>説明としましては、保険委員会で査定内容を協議し、必要に応じて医</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>療従事者に協議内容を周知したほか、レセプトチェックソフトの病名漏れチェック機能等を改善するなど、査定率の抑制に努めましたが、査定率が目標を0.03ポイント超過し、目標を達成できなかったため、b評価としたところです。</p> <p>続きまして、39ページをご覧ください。</p> <p>小項目「40 医業未収金発生率の抑制」ですが、令和元年度の目標2.18%に対してまして実績が2.74%となりましたので、c評価としております。</p> <p>説明といたしましては、未収患者に対して、外来受診時や再入院時等に積極的に支払いを促すとともに、未収金回収業務委託の履行期間の延長や市立病院経営部4課による臨戸徴収を行いました。未収率が目標を0.56ポイント超過し目標を達成できなかったため、c評価としたところです。</p> <p>恐れ入りますが、A3版の表をご覧ください。</p> <p>大項目②「収益確保に向けた取組」につきましては、病院の評価では、a評価が4件、b評価が1件、c評価が1件となり、「評価点数合計」は32.7点、満点に対する割合は57%、「病院評価」はBとしております。</p> <p>大項目②「収益確保に向けた取組」についての説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価では、a評価が4件、b評価が1件、c評価が1件となり、平均値による評価はBとなっております。</p>
<p>増田委員</p>	<p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いします。よろしければ増田委員いかがでしょうか。</p>
<p>登坂委員長 若林医事課長</p>	<p>それでは、「40 医業未収金発生率の抑制」についてですが、今回かなり未収金発生率が増えてしまったということですが、病院評価説明の内容から言うと、平成29年度及び平成30年度と同じ説明となっていて、しかしながら結果的には未収金発生率が増えてしまった。</p> <p>令和元年度はそれまでの取組と特に違うことを行ったのか、それとも何か特別な環境や、その他の変わったことがあったのか教えていただければと思います。</p> <p>事務局をお願いします。</p> <p>医事課長の若林です。未収金の対策ですが、特に例年と変わった取り組みをしたということはありません。未収金は12月から増えており、このことから推測すると、病院移転があり患者さんの抑制ですとか</p>

増田委員	<p>今年に入ってからは新型コロナウイルス感染症の状況もあり、なかなか患者さんに接触することが出来なかったということもあり、そのまま未収金として残ってしまったと考えます。</p>
登坂委員長 堀之内院長	<p>今の説明でよくわかりました。移転に伴う業務量の過多で未収金にかかわる人手不足と新型コロナウイルス感染症による対応の難しさということで、今年に入ってからかなり未収金が多くなったというご説明でしたので、これはいずれ回収できるものと理解いたしました。</p>
	<p>それから、「35 病床利用率(一般病床)の向上」についてですが、令和元年度の目標は75%というのは、他の年度の目標と比べれば低いのですが、これは新病院に移転するにあたって入院規制を行うことを見込んで目標値を設定したのでしょうか。</p>
	<p>堀之内院長お願いします。</p>
	<p>院長の堀之内でございます。</p>
	<p>ご指摘のように昨年の12月に引っ越しをいたしました。引っ越しにあたりまして、引っ越しの負担を減らすために患者数を減らすということで25%くらい病床利用率を減らしました。そのため、令和元年度の予測としては75%としました。</p>
	<p>1月に入ってからは順調に回復しております、1月の病床利用率は80%くらいまで回復しておりますが、2月の終わりから3月にかけて新型コロナウイルス感染症の影響で少しずつ落ちている状況にありまして、実績としては78.1%となりました。</p>
登坂委員長 尾形委員	<p>今年度は、特に5月の病床利用率が61%くらいまで下がってしましまして、現在のところ病床利用率は72~3%を回復したところですが、通常時まで回復するにはもう少し時間がかかるかなと思っております。</p>
	<p>ありがとうございます。尾形委員いかがでしょうか。</p>
	<p>「40 医業未収金発生率の抑制」のところを見ると、平成29年度、平成30年度と下がってきていて、令和元年度で上がってしまっているわけですが、これは公立病院ならではの感じもするのですが、この水準は公立病院のアベレージからするとどうなのでしょう。高いほうなのか、低いほうなのか、分かれば教えていただければと思います。</p>
登坂委員長 若林医事課長	<p>事務局お願いします。</p>
	<p>公立病院のアベレージがどれくらいなのかということについては申し訳ございません、把握してございません。</p>
尾形委員	<p>分かりました。結構です。</p>
登坂委員長	<p>それでは鈴木委員いかがでしょうか。</p>

<p>鈴木委員 登坂委員長 委員一同 登坂委員長</p>	<p>特にありません。</p> <p>それでは、事務局案のとおりB評価ということではよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>特にご意見が無いようですので、B評価とします。</p> <p>続きまして、大項目「③費用縮減に関する取組」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは、大項目③「費用縮減に関する取組」について、ご説明いたします。</p> <p>恐れ入ります、A3版の資料をご覧ください。こちら小項目はすべてa評価となっておりますので、簡単に報告させていただきます。</p> <p>冊子の40ページをご覧ください。</p> <p>小項目「41 材料費対医業収益比率の適正化」ですが、令和元年度の目標25.7%に対し実績が24.8%となり、目標を達成したため、a評価としております。</p> <p>説明としましては、内容としましては、薬品及び診療材料につきまして価格交渉を行いまして、令和元年度の材料費対医業収益比率は24.8%となったためa評価としたところです。</p> <p>続きまして、41ページをご覧ください。</p> <p>「42 後発医薬品使用数量割合の拡大」ですが、令和元年度の目標85%に対し実績が85.97%となったため、a評価としております。</p> <p>説明としましては、新たに薬価収載された後発医薬品や後発薬品への切替可能な医薬品を抽出し、随時切替を実施したところからでございます。結果、実績が85.97%となったことから、a評価としたところです。</p> <p>続きまして、42ページをご覧ください。</p> <p>「43 価格及び保守内容の妥当性確認」ですが、令和元年度の目標が実施、それに対する実績が実施でございます。</p> <p>説明としましては、医療機器の調達におきまして無駄な機能を省いた仕様とすることや、同種同機能メーカー間での競争性を高めた入札等を行いました。また、関連機器とのセット購入、各部門の希望機種による仕様書の集約や仕分けを行うことにより、トータルコストを縮減したことから、a評価としたところです。</p> <p>続きまして、43ページをご覧ください。</p> <p>「44 ESCOによる光熱水費の縮減」ですが、令和元年度の目標が4,000万円に対して実績が4,962万円となっており、a評価としております。</p> <p>取組内容としましては、ESCO事業の適切な管理運営を行い、目標</p>
<p>浅野病院財務課長</p>	

登坂委員長	<p>を達成したため、a評価としております。</p> <p>恐れ入りますが、A3版の表をご覧ください。</p> <p>大項目③「費用縮減に関する取組」につきましては、病院の評価では、a評価が4件となり、「評価点数合計」は21点、満点に対する割合は70%、「病院評価」はAとしております。</p> <p>大項目③「費用縮減に関する取組」についての説明は以上です。</p> <p>ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価では、a評価が4件、平均値による評価はAとなっております。</p> <p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いいたします。よろしければ増田委員いかがでしょうか。</p>
増田委員	<p>特に評価に対して異論はありません。</p> <p>「44 ESCOによる光熱水費の縮減」ですが、新病院になった際に延べ床面積がかなり増えたと思うのですが、光熱水費はどののでしょうか。むしろいろいろな環境対策等をとられて、旧病院と比べ、全体の光熱水費は安くなったのか、それともある程度はやむを得ないという状況なのか、本題とは違うと思いますが、教えていただければと思います。</p> <p>事務局お願いします。</p>
赤沼病院施設管理課長	<p>病院施設管理課長の赤沼と申します。</p> <p>建物についてでございますが、延べ床面積は旧病棟と比べ新病棟は約1.4倍増えております。光熱水費につきましては、1～3月について旧病棟の光熱水費と比較して、電気については床面積同様に増加しております。上下水道及びガスにつきましては、1月は増加しましたが、2月、3月は減少しております。</p> <p>削減効果としては、電気が多少多くなっておりますが、他は削減できているというのが実績でございます。</p> <p>今後もESCO事業者の指導の下、削減に努めてまいりたいと考えております。</p>
登坂委員長	<p>季節性の問題はどのように考えていますか。この先1年を通じてどのようになるのかは検討されていますか。</p> <p>夏場は冷房の使用により光熱水費は増えると思いますが、ESCO事業者の指導の下削減してまいりたいと考えます。</p> <p>ありがとうございました。続きまして、尾形委員いかがでしょうか。</p> <p>評価について異論はございません。1点お聞きしたいのですが、「41材料費対医業収益比率の適正化」ですが、令和元年度の目標25.7%</p>
赤沼病院施設管理課長 登坂委員長 尾形委員	

登坂委員長 堀之内院長	<p>に対し実績が24.8%となり、目標を達成しているのですが、目標を見ると平成29年度の22.9%や平成30年度22.7%と比べるとかなり高い目標となっている。実績としても平成30年度は24.6%ですから、実績としては少し上がっている。この辺は移転に伴い材料費の収益比率が上がると見込んでいたということによろしいでしょうか。</p>
尾形委員	<p>堀之内院長お願いします。 院長の堀之内でございます。 昨年度は新しいロボット手術の機械のダビンチを導入しました。これは結構診療材料を必要とするものであり、また、心臓カテーテルあるいはCT等の資材が年々高くなってきているということがございまして、努力はしておりますが、やはり資材が高くなってしまっていることが要因と考えています。</p>
登坂委員長 増田委員	<p>そうしますと、今年度は23.8%という目標となっていますので、これを達成するのは大変かなと思います頑張ってくださいと思います。</p>
赤沼病院施設管理 課長	<p>増田委員、先ほどのことでご意見ありますか。 ESCO事業について追加質問させてください。目標が4,000万円で、元年度の実績が4,962万円の縮減だったということで、全体のパイが大きくなるので令和2年度はもう少し縮減できるととらえてよろしいのでしょうか。</p>
登坂委員長 鈴木委員 登坂委員長	<p>病院施設管理課長の赤沼です。建物の規模も増えておりますので、具体的にはまだ検討しておりませんが、縮減できるように検討してまいります。</p>
委員一同 登坂委員長	<p>ありがとうございます。それでは鈴木委員いかがでしょうか。 特にありません。 それでは、いろいろご意見をいただきましたが、それでは、事務局案のとおりA評価ということによろしいでしょうか</p>
浅野病院財務課長	<p>はい。 それでは、ご異議なしということで、A評価とします。 続きまして、大項目「④経営管理体制の整備」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。 それでは、大項目④「経営管理体制の整備」について、ご説明いたします。A3版の表をご覧ください。 こちらは小項目全てa評価となっておりますので、簡単に報告いたします。 冊子の44ページをご覧ください。</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>「45 組織の見直し」ですが、令和元年度の目標は実施、それに対する実績も実施であるためa評価としております。</p> <p>説明としましては、診療科追加に向けた条例議案の提出や新病院における組織体制や事務分掌の変更に必要な規則等の改正について計画どおり進捗したため、a評価としたところです。</p> <p>続きまして、45ページをご覧ください。</p> <p>「46 経営状況に関する説明会(研修会)の実施」ですが、令和元年度目標が年2回、それに対する実績も年2回となり、a評価としております。</p> <p>説明としましては、6月に平成30年度決算見込みや主要計画指標の達成状況について説明会を実施するとともに、1月に令和元年度上半期の決算状況の説明会を実施したことからa評価としたところです。</p> <p>恐れ入りますが、A3版の表をご覧ください。</p> <p>大項目④「経営管理体制の整備」につきましては、病院の評価では、a評価が2件となり、「評価点数合計」は11.9点、満点に対する割合は70%、「病院評価」はAとしております。</p> <p>大項目④「経営管理体制の整備」についての説明は以上です。</p> <p>ご審議のほどよろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>市立病院の内部評価では、a評価が2件で、平均値による評価はAとなっております。</p> <p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いします。増田委員いかがでしょうか。</p>
<p>増田委員 登坂委員長 尾形委員</p>	<p>特にありません。</p> <p>尾形委員いかがでしょうか。</p> <p>「46 経営状況に関する説明会(研修会)の実施」について2点お聞きしたいのですが、一つ目はこの説明会について参加した人の感想や評価は取っているのかどうか、二つ目はこの説明会に参加された診療部長や看護部長からその下のスタッフに対してこの情報が伝達されているのかどうか教えていただければと思います。</p>
<p>登坂委員長 浅野病院財務課長</p>	<p>事務局をお願いします。</p> <p>病院財務課長の浅野でございます。ただ今のご質問にお答えします。感想などのアンケートについては、取っておりません。出席したスタッフ以外の周知に関して申し上げますと、月2回診療部長会議を開催しており、また月1回各部の連絡会議において各部の部門長が参加する会議でございますので、そのような席で周知することによって、伝達され</p>

尾形委員	<p>ていると考えます。</p> <p>ありがとうございました。やはりこういうようなことは、下に周知することが大事だと思います。また説明会ではやはりアンケートを取るべきだと考えます。我々大学でも授業でアンケートを取ってそれをフィードバックするというのにはある意味当たり前になってきています。</p> <p>その辺よろしくお願いします。</p>
堀之内院長	<p>院長の堀之内でございます。ご指摘ありがとうございます。旧病院では講堂が非常に狭くて、人数が多くは入れなかったのですが、新しい病院になりまして、椅子だけ並べればかなりの人数が入るようになりましたので、全員出席の説明会もやりやすくなりました。またビデオ研修も実施してまいりたいと考えています。</p>
登坂委員長	<p>尾形委員よろしいでしょうか。</p>
尾形委員	<p>はい。ありがとうございました。</p>
鈴木委員	<p>それでは鈴木委員いかがでしょうか。</p>
増田委員	<p>特にありません。</p>
登坂委員長 堀之内院長 委員一同 登坂委員長	<p>よろしいでしょうか。病院全体への周知ですけれども私ども川崎市立病院では同じことを2回やるとか、資料については差し支えないものは電子カルテに乗せる等の工夫をしております。</p> <p>さいたま市立病院でもやってらっしゃるとは思いますが、参考になればと、情報を入れさせていただきました。</p> <p>ご質問はありましたが、修正意見はございませんでしたので、事務局案のとおりA評価ということでよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>それでは、ご異議無いようですのでA評価といたします。</p> <p>続きまして、大項目「⑤職員の確保・人材育成と適正配置」に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
浅野病院財務課長	<p>それでは、大項目⑤「職員の確保・人材育成と適正配置」について、ご説明いたします。</p> <p>冊子の46ページをご覧ください。</p> <p>小項目「47 職員の増員」ですが、令和元年度の目標972名に対して実績が912名となっており、b評価としています。</p> <p>説明につきましては、R1年度末とH30年度末の比較では、医師12名増、看護職員7名減、医療技術員15名増、事務職員5名増、労務職員1名減で、合計24名増となり、医師以外は計画人員を概ね確保したところでございますが、医師の数が計画を下回ってしまったことから、b評価としたところでございます。</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>恐れ入りますが、A3版の表をご覧ください。</p> <p>大項目⑤「職員の確保・人材育成と適正配置」につきましては、病院の評価では、a評価が3件、b評価が1件となりまして、病院評価点数は13.1点、満点に対する割合は57%、「病院評価」はBとしております。</p> <p>大項目⑤「職員の確保・人材育成と適正配置」についての説明は以上です。</p> <p>ご審議のほどよろしく申し上げます。</p> <p>市立病院の内部評価では、a評価が3件、bが1件で、平均値による評価はBとなっております。</p> <p>それでは委員の皆様、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いいたします。増田委員いかがでしょうか。</p>
<p>増田委員</p>	<p>「47 職員の増員」ですが、平成30年度と比べると令和元年度は24名の増となっていますが、目標値は972名でかなり増という目標を立てておられたわけですね。おそらく看護師が充足しなかったのかなと思ってみているのですが、看護職員が増えていけば今以上に収入が上がったのか、新病院への準備を考えた結果、少し抑制したのか、どちらなのでしょう。</p>
<p>登坂委員長 越田病院総務課長</p>	<p>事務局申し上げます。</p> <p>病院総務課長の越田と申します。よろしく申し上げます。計画972人に対する実績912人についてですが、常勤正規職員の計画となっております。その主な内訳ですが、60人中、医師が22人、看護師が35人です。</p> <p>医師については、大学の医局から医師の配置がされる場合に、常勤の医師ではなく後期研修医、専攻医の配置となる場合がございます。そのため人数が増えておりません。昨年度末常勤医師106名でしたが、後期研修医・専攻医は35名おりますので、通常の医療には支障が無いようにしております。</p> <p>看護師につきましては平成30年度、令和元年度末に退職者が若干おりましたが、4月1日に大幅に増員いたしまして、令和元年度末588人に対して659人まで採用しております。</p>
<p>増田委員</p>	<p>もう1点、「48 資格取得支援・研修会や学会への参加推進」について教えていただきたいのですが、認定看護師あるいは特定行為看護の看護師その他支援をしているということですが、これは資格を取得した後、給与等でなにか待遇が変わり、それがモチベーションとなっているのか、それとも、そうではないのか、川崎市の場合何ら給与が変わらないので、常にこのことは話をしているのですが、取得をする看護師は、</p>

越田病院総務課長	<p>個人のキャリアアップとなる資格取得ということで、ある程度満足してそういった資格取得をしているところですがさいたま市立病院についても教えていただければと思います。</p>
増田委員	<p>病院総務課長の越田です。川崎病院と同じように、こちらも研修費用等育成費用については補助を出しているのですが、それが給与に反映するという事は現在できておりません。今後の課題になっています。</p>
登坂委員長	<p>今後の課題ということで、何か状況が変われば教えていただければと思います。</p>
尾形委員	<p>それでは尾形委員いかがでしょうか。</p> <p>48ページの「49 働きがいのある職場づくり」についてですが、目標が70%で実績が71%とクリアしているのですが、令和2年度の目標を見ると80%以上というかなり高い数値になっています。病院経営において職員のモチベーションというのは大事だと思いますが、現状70%の達成状況でこれを80%にもっていくにあたって、今後の取組内容についてお考えがあれば教えていただきたいと思います。</p>
登坂委員長	<p>堀之内院長お願いします。</p>
堀之内院長	<p>院長の堀之内でございます。女性が多い職場ですので、保育の環境について力を入れていきたいと考えています。昨年度当院は院内保育を始めまして、まだそこは24時間対応できる曜日が限られているところがあり、そこを改善していく。あとやはり、女性の医師が多くなっておりまして、時短勤務や時間外勤務の削減など女性医師が活躍できる環境を整えていくことで満足度を上げていきたいと考えています。</p>
尾形委員	<p>ありがとうございました。よくわかりました。若干補足的に話をさせていただくと、今後働き方改革のなかで、優秀な医療専門職をいかに確保していくかが大きな課題になってくると思います。そのなかで、2つご紹介しますと、一つは、もともと看護の世界から出てきた考えですが、マグネットホスピタルという考え方があります。これは磁石のように優秀な人材を引きつける魅力のある病院で、こういった要件があるのかというのはいろいろ看護の世界にありますので、それを参考にいただければと思います。</p> <p>もう一つは、健康経営といったことが、医療に限らず様々な組織で言われてきていて、最近、健康経営優良法人というのが毎年発表されているのですが、その中で、民間の医療機関がかなり手を挙げて健康経営優良法人になってきています。健康経営というのは、職員の健康をまず考えないと企業としての生産性が上がらないということで、医療機関は特にそのあたりが重要だと思いますので、その辺を今後意識してい</p>

<p>登坂委員長 鈴木委員 登坂委員長</p>	<p>ただければと思います。これは参考にしていただければと思います。 ありがとうございました。続きまして、鈴木委員いかがでしょうか。 特にありません。 それでは、いろいろとご意見をいただきましたが、修正意見はございませんでしたので、事務局案のとおりB評価としてよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同 登坂委員長</p>	<p>はい。 ご異議無いようですので、B評価といたします。 以上、9つ、すべての大項目の評価が終了いたしましたので、議事を次に進ませていただきます。よろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同 登坂委員長</p>	<p>はい。 それでは、「収支計画・主要経営指標の達成状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>浅野病院財務課長</p>	<p>それでは、事務局から「収支計画・主要経営指標の達成状況」について、ご説明いたします。 冊子の50ページをご覧ください。 まず、「収支計画の達成状況」といたしまして、さいたま市立病院の令和元年度決算見込みでございます。 左側の表が「1. 収益的収支」、右側の表が「2. 資本的収支」となっておりまして、それぞれ、上から、収入、支出等の科目、その右側に前年度の平成30年度実績値、その右側に、令和元年度目標値、実績値の見込を記載しております。 なお、収益的収支につきましては、損益ベースですので「税抜き」となっております。 それでは、令和元年度実績値の見込について、収益的収支からご説明いたします。 表の1番上「収入」の「1. 医業収益」をご覧ください。 令和元年度実績値の見込ですが、「医業収益」は、153億8,700万円で、その内訳ですが、『(1)入院収入』が、113億7,400万円、『(2)外来収入』が、33億7,100万円、『(3)その他』が、一般会計繰入金 の4億2,300万円等を含み、合計で6億4,300万円となっております。 次に、「2. 医業外収益」ですが、「医業外収益」は、21億1,700万円で、その内訳ですが、一般会計繰入金である、『(1)他会計負担金・補助金』が、18億3,400万円、『(2)国(県)補助金』が、3,600万円、『(3)その他』が、長期前受金戻入、民間借上医師宿舎使用料、行政財産使用料などで、合計2億4,700万円となっております。</p>

これら、「医業収益」と「医業外収益」を加えた、「経常収益」は、175億400万円となっております。

次に、支出の「1. 医業費用」をご覧ください。

「医業費用」は、181億9,600万円、その内訳は、『(1)職員給与費』が、86億4,500万円、『(2)材料費』が、38億1,800万円、

『(3)経費』が、41億9,500万円、『(4)減価償却費』が、14億9,400万円、『(5)その他』が、研究研修費などで、4,400万円となっております。

次に、「2. 医業外費用」をご覧ください。

「医業外費用」は、8億9,700万円、その内訳は、『(1)支払利息』が、4,400万円、『(2)その他』が、控除対象外消費税や、職員宿舍費などで、8億5,300万円となっております。

これら、「医業費用」と「医業外費用」を加えた、「経常費用」は、190億9,300万円となっており、経常収益から、経常費用を差し引いた「経常損益」は、15億8,900万円の赤字となっております。

その下、「1. 特別利益」が旧病棟の耐用年数短縮による収益化などによるもので3億4,100万円、「2. 特別損失」が旧病棟耐用年数短縮による過年度分の減価償却費や新病院開院に伴う移転費用等によるもので16億6,900万円、特別利益から特別損失を差し引いた「特別損益」は13億2,800円の赤字となり、「純損益」は、「経常損益」と「特別損益」を合わせ、29億1,700万円の赤字となっており、累積欠損金は20億3,300万円となっております。

続きまして、右側の表、「2資本的収支」をご覧ください。

令和元年度実績値の見込ですが、収入につきましては、「1. 企業債」が259億6,400万円、一般会計繰入金である、「2. 他会計出資金」が、1億5,500万円、「3. 国(県)補助金」が、5,200万円で、収入の合計は、261億7,000万円となっております。

次に支出ですが、「1. 建設改良費」が、281億6,700万円、「2. 企業債償還金」が、1億9,200万円で、支出の合計は、283億6,000万円となっております。

支出から収入を差し引いた「差引不足額」21億8,900万円は、

「1. 損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額」で補てんしております。

また、企業債残高は、341億2,000万円となっております。

続きまして、資料51ページ「主要経営指標の達成状況」の「医療関係指標」につきましてご説明いたします。

表の左側から、前年度の平成30年度実績値、令和元年度の目標値、実績値の見込、その右側に達成率、「主な取組・主な要因」を記載しております。

まず、「手術件数」ですが、令和元年度の実績値の見込は、4,985件となっております。手術室に限られる中、できるだけ多くの手術を組み込めるよう、効率の良い手術室運営に努めましたが、新病院移転時に安全な移転を心掛けるため計画的に症例を減らした影響もあり、目標値を上回ることができませんでした。

次に、「救急搬送件数」は、7,114件となっております。

救急医療体制の充実を図るため、救急専門医1名、大学の救急救命センターで経験のある医師1名を配置したことにより救急搬送患者数は目標に対して109.4%となり、目標値を達成しております。

次に、「平均在院日数」は、11.8日となっております。令和2年1月より患者支援センターが組織化されたことから、看護部と患者支援センターが連携することが出来たほか、病床管理業務について、入退院支援管理委員会において、管理する活動内容とその結果報告を定期的に行うことで、管理上の問題点に対する対策の検討を行いました。

このことから、平均在院日数は前年度より0.1ポイント改善され、目標値を達成しております。

次に、「紹介率」は、73.6%となっております。

地域医療支援病院の適合要件の維持を図るため、地域医療推進委員会を定期的開催し、各医師会に対して紹介患者の増加となるよう働き掛けを行ったほか、「紹介率」の状況について、病院幹部が出席する「経営状況分析会議」等において報告を行い、院内での情報の共有化を図りました。その結果、「紹介率」は73.6%となり、目標値を達成しております。

次に、「逆紹介率」は、94.7%となっております。

地域医療支援病院の適合要件の維持を図るため、逆紹介率70%を超えるよう各診療科に働き掛けを行いました。また、「逆紹介率」の状況について、「経営状況分析会議」等において報告を行い、院内での情報の共有化を図りました。その結果、「逆紹介率」が、地域医療支援病院の適合要件である70%を大きく上回り、目標値を達成しております。

続きまして、資料52ページ「財務関係指標」につきまして、ご説明いたします。

まず「医業収支比率」ですが、84.6%となっております。

収益面では、新病院への移転準備に伴う診療制限を行ったことによ

り、医業収益が前年度と比べ約3億4,300万円減少となりました。また、費用面では、新病院へ向け職員数を増加したことに伴い、職員給与等の医業費用が増加となりました。このことから、「医業収支比率」は、前年度と比べ11.6ポイント下降しましたが、目標値の80.4%を達成しております。

次に、「経常収支比率」は、91.7%となっております。

経常収益は対前年度と比較し約2億1,000万円の上昇となりましたが、経常費用が約19億9,200万円の増加となったため、「経常収支比率」は前年度と比較し9.4ポイント下がりましたが、目標値の85.8%を達成しております

次に、「職員給与費対医業収益比率」は、56.2%となっております。

新病院の開院に向けた職員数の増加などにより、職員給与費が前年度比約5億9,200万円増加しましたが、入院収益等の医業収益が前年度と比べ約3億4,300万円減少したことから、「職員給与費対医業収益比率」は、前年度と比べ5ポイント上昇しました。職員給与費対医業収益比率は目標を達成しているものの、職員数は目標人数972名に対し912名に留まっております。

次に、「材料費対医業収益比率」は、24.8%となっております。

材料費の縮減を図るため、薬品及び診療材料について価格交渉を行うとともに、診療材料審査委員会を年4回開催し、新規材料等の審査を適正に行ったこともあり、前年度と比べ、医業収益が約3億4,300万円減少したことに対して、材料費は約4,700万円の減少となったことから、「材料費対医業収益比率」は、前年度と比べ0.2ポイント上昇しましたが、目標値を達成しております。

次に、「他会計繰入金対経常収益比率」は、12.9%となっております。

新病院開院に伴い、新たに精神医療に要する経費や、新たに調達したリースに要する経費を計上したこと等により、一般会計からの繰入金が前年度と比べ約5億6,363万円増加し、比較対象の経常収益は約2億1,000万円上昇したことから、「他会計繰入金対経常収益比率」は、前年度と比べ3.1ポイント上昇しましたが、目標値を下回りました。

次に、「一般病床利用率」は、78.1%となっております。

新病院への移転に伴い、12月、1月の病床利用率が約60%であったため、前年度と比較し6.7ポイントの減少となりましたが、目標値の75%は達成しました。

次に、「入院患者一人一日当たり収入」ですが、71,025円となり目

標を達成しました。

前年度と比較して、医療機関別係数の増加したこと及び、小児科で10,705円、脳神経外科で5,003円の増、呼吸器外科で10,069円の増、救急科で61,792円の増となるなど、複数の診療科で「入院患者一人一日当たり収入」が増加したことから、診療科全体で前年度と比べ1,683円の増となり、目標値を達成しました。

次に、「一日平均外来患者数」は、924.9人となっております。

新病院への移転に伴い、12月の外来患者数が前年度と比較し245人の減となったことから、「一日平均外来患者数」は、30年度と比較し14.4人減少し、目標値の933人に対しても8.1人下回りました。

次に、「外来患者一人一日当たり収入」ですが、15,058円となっております。

前年度と比較して、外科で3,484円の増、眼科で2,024円の増、救急科で1,462円の増、心臓血管外科で1,297円の増となるなど、複数の診療科で「外来患者一人一日当たりの収入」が増加したことから、診療科全体で30年度と比べ277円の増となり、目標値を達成しました。

続きまして、資料53ページ「貸借対照表の状況」ですが、こちらは、平成30年度末、令和元年度末(見込)の金額及び平成30年度末から令和元年度末(見込)までの増減額をお示しております。

それでは、各科目における増減額につきまして、ご説明いたします。

まず、「1. 固定資産」ですが、約279億6,900万円の増となっております。

主な要因といたしましては、新病院開院に伴い、建物の固定資産が約256億6,600万円の増となったことによるものです。

次に、「2. 流動資産」が約64億7,900万円の減となっております。

主な要因といたしましては、前年度、新病院建設事業の財源として借り入れた企業債を支払いに充てたことにより、預金が約55億9,800万円の減となったことによるものです。

続きまして、表の右側の「3. 固定負債」ですが、約271億8,200万円の増となっております。

主な要因といたしましては、新病院建設工事に対して、新たに企業債を借り入れ、企業債残高が約249億7,200万円の増となったことによるものです。

次に、「4. 流動負債」につきましては、約25億2,600万円の減となっております。

	<p>主な要因といたしましては、新病院建設事業に伴う未払金が約40億4,100万円の減となったことによるものです。</p> <p>次に、「5. 繰延収益」につきましては、約4億300万円の減となっております。</p> <p>主な要因といたしましては、補助金等の収益化を行ったことによるものです。</p> <p>次に、「6. 資本金」につきましては、約1億5,500万円の増となっております。こちらは、他会計出資金の受入れにより、自己資本金が増加したことによるものです。</p> <p>次に、「7. 剰余金」につきましては、約29億1,700万円の減となっております。こちらは、当年度純損失を前年度繰越利益剰余金から控除したものです。</p> <p>以上のことから、令和元年度末見込の資産合計は、左の表の1番下になりますが、前年度比約214億9,000万円の増で、約491億4,700万円、負債合計は右の表のやや下段にあります。前年度比約242億5,300万円の増で、約424億1,300万円、資本合計は下から2段目になりますが、前年度比約27億6,300万円の減で、約67億3,400万円となっております。</p> <p>最後に、1番下の負債資本合計は、前年度比214億9,000万円の増で、491億4,700万円となっており、左側一番下の資産合計と一致しております。</p> <p>「収支計画・主要経営指標の達成状況」の説明は以上です。</p>
登坂委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、市立病院の令和元年度の収支計画と主要経営指標の達成状況について説明がございました。</p>
増田委員	<p>それでは、委員の皆様、ご質問等がありますでしょうか。増田委員いかがでしょうか。</p> <p>50ページの資本的収支についてですが、令和元年度の企業債の実績値が減ったということ、支出の建設改良費も減ったということで、建設改良費が減ったため企業債が少なくて済んだ理由かと思いますが、これは支払いが令和元年度に少なくなったことによって企業債の実績値が減っているのか、または支払いの圧縮が図られたのかというところを教えていただければと思います。</p>
登坂委員長 浅野病院財務課	<p>事務局お願いします。</p> <p>ただ今のご質問にお答えします。大きく申し上げますと、事業費が減ったということになります。事業費が減った要因としては、請負差金が大</p>

増田委員	きい要因となります。
浅野病院財務課長	ありがとうございます。それによって、企業債を減らすことが出来たということで、これはいい結果として理解してよろしいですね。
増田委員	はい、そう考えていただいてよろしいと思います。
登坂委員長 若林医事課長	ありがとうございました。それと、貸借対照表の53ページの左側の流動資産の未収金について、この医業未収金というのは、先ほど医事課長より説明のあった未収金とは異なり、診療報酬の支払いの時期により未収になっているですとか、クレジットカード払いのお金が未収となっている等を含んだものとして見ていました。例えば、令和2年3月31日時点の未収金が22億7,200万円でその前年が26億3,600万円ということですので、先ほどと違って、前年度と比較して医業未収金は減っているということになってはいますが、そういう理解でよろしいでしょうか。
増田委員	事務局お願いします。
増田委員	委員のおっしゃるとおり、国保連合会等からこれから入るものも含まれております。なお、クレジットカードにつきましては、未収金という形にはなっておりません。診療報酬の分と、患者さんがこれから未払のものも含まれております。
若林医事課長	ありがとうございます。先ほど公立病院の未収率がどんなものなのかといわれましたが、川崎市立病院の場合は、診療報酬ですとかクレジットカードのまだ入っていないお金も含めて未収金となってしまうと、本来の当然入るべきお金の未収金扱いしない未収金の扱いが出来ていないものですから、さいたま市立病院は本来入るお金はカウントせず、本当の未収金の区分けが出来ており、先ほど説明のあった「40 医業未収金発生率の抑制」での率は、診療報酬等を除いた率ということですのでよろしいですね。
増田委員	財務上は、診療報酬や患者さんの未払による未収金も含まれたものとなりますが、先ほど説明した患者さんの窓口払いの未収金については、医事会計上管理しておりまして、医事会計上の未収金の発生率は診療報酬等については含まれていません。
増田委員	財務上の未収金には診療報酬や窓口払いの未収金すべてが含まれているが、それとは別に医事会計上は窓口払いの未収金を分けて管理しているということですね。
登坂委員長	よくわかりました。
尾形委員	続きまして、尾形委員いかがでしょうか。 2点質問させていただきたいのですが、1つは50ページ左側の収益

<p>登坂委員長 浅野病院財務課長</p>	<p>的収支の累積欠損金で前年度実績値及び目標値が0となっていて、実績見込みが20億3,300万円あるのですが、これはどういう計算になるのかというのを教えてください。</p> <p>2点目は、51ページ主要経営指標の達成状況についてですが、達成率を見ると多くの項目で達成率が100%を超えていて、目標をクリアしていると読み取れますが、100%を超えていれば目標を上回る成果を示しているということでプラスの評価なのだと思いますが、52ページの他会計繰入金対経常収益比率について、目標値が13.7%に対し実績の見込みが12.9%となっていて、他会計からの繰り入れが低くなっているのですが、達成率が94.2%となっており、未達成と見受けられる。これはむしろ逆なのではないでしょうか。</p> <p>以上、2点お願いします。</p> <p>事務局お願いします。</p>
<p>尾形委員</p>	<p>ただ今のご質問にお答えします。まず1点目の収益的収支の累積欠損金の目標値が0になっていることにつきましては、大変申し訳ございません、転記ミスでございます。</p> <p>2点目の他会計繰入金対経常収益比率についてでございますが、こちらは目標値に対する実績値ということで94.2%という数字を計上しております。委員ご指摘のとおり一般会計からの繰入金が下がったということは、目標を達成できたといえることもあるかと思いますが、こちらについては目標に対しての実績の割合を記載したものとなります。</p>
<p>浅野病院財務課長 登坂委員長</p>	<p>2点目についてですが、他の指標については必ずしも単純に目標数値に対する実績数値としているのではなくて、例えば手術件数などは目標に対して実績が下回っているのが94.4%となっておりますが、在院日数については目標12日に対して実績11.8日で達成率が100%を超えているわけで、病院にとってプラスとなったものは100%を超えるようになっていると思われる。そう考えると、繰入金が減ったというのは病院にとって悪いことではないのではないかと思います。ここが100%に満たない状態だと、もっと繰入れしなければいけないかのように見えてしまうので、ここはちょっとお考えいただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>貴重なご意見だと思いますので、ご検討いただければと思います。</p> <p>それでは、鈴木委員いかがでしょうか。</p>
<p>鈴木委員 登坂委員長</p>	<p>特にありません。</p> <p>大変貴重なご意見、ありがとうございました。最後に、全体評価といたしまして、市立病院の中期経営計画の達成状況につきまして、委員</p>

<p>増田委員</p>	<p>の皆様から一言ずつご意見を伺いたいと思います  それでは、増田委員ご意見をいただいてもよろしいでしょうか。  令和元年度のさいたま市立病院の経営指標等をご説明いただきまして、病院移転という大事業 それを見込んだ令和元年度の目標値を見る限りは医業収益については少し少ないものの支出も抑えられていて、経常損益をみると目標値よりも圧縮できているということで、非常に努力をなされた結果かなと思います。  これでおそらく2～3月の新型コロナウイルス感染症が無ければ、もう少し医業収益が上がっていたのかなと思いますが、病院の皆様の努力が表れているという印象を持ちました。  堀之内院長をはじめ皆さんが新病院となってこれから頑張るぞ思っていた時期に、新型コロナウイルスの影響はかなり深刻で、今年の5月は特に落ち込んだのではないかと思います。川崎市立病院も同じ状況となっていますが、さいたま市立病院は病床稼働率を73%まで回復したということは素晴らしいことだと思います。  今後ますます回復していくものと思いますが、社会環境の変化や患者さんの受診行動の変化というのが相当起きると思いますし、新型コロナウイルス感染症の第2波は必ず起こることだと思いますので、病院のかじ取りというのはなかなか難しいと思っております、これからもご相談させていただきたいと思っています。  いずれにいたしましても令和元年度は非常に素晴らしい結果だと思います。</p>
<p>登坂委員長 尾形委員</p>	<p>以上でございます。  ありがとうございます。それでは尾形委員お願いします。  今日の評価を通じて、小項目の評価や財務状況をもみても令和元年度は一定の成果を上げておられるので、院長以下皆様の努力のたまものだと思います。特に51ページからの主要経営指標はほぼ100%を超えており、少なくとも目標値は上回っているのは間違いないので、これは大いに評価できる点だと思います。  ただ一方で前年度の実績と比べると、移転等もあり目標を低く設定していた点もあるかと思いますが、今後は前年度やそれ以前の水準に戻っていかなくてはいけないんだらうと思います。そういう意味では一層の努力に期待したいと思います。  いずれにしても令和元年度については一定の成果を上げておられると評価できると思います。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして鈴木委員お願いします。</p>

<p>鈴木委員</p> <p>登坂委員長</p>	<p>数字的には新病院を作ったわけですから、いろいろと一概にはわからないということもあるのですが、病院の経営に関して、診療等に関しては大変な努力をされておられるのではないかなと思っております。</p> <p>今もお話がありましたようにコロナウイルスの問題もありながら、ほぼ目標を達成されたということは、大変すばらしいことだと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>12月の新病院移転や3月からは新型コロナウイルス感染拡大の影響がありまして、なかなか公立病院として仕方がないというところもあったと思いますが、全体的には非常によく達成できているなと感じています。</p> <p>それからホームページのアクセス数が非常に良いということで、ホームページを通じていろいろと発信していければ、患者さんにとっても利用しやすい病院になるのではないかなと思います。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変貴重なご意見をいただきありがとうございました。来年度はいろいろな基準がどのようにできていくか、そういった点を考慮しながら考えていきたいと思っています。</p> <p>本日は長時間に渡りご議論いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>次回の委員会では、本日、皆様に評価していただいた内容やご意見等をまとめたうえで、本委員会としての評価を確定したいと考えております。</p>
<p>3 その他</p> <p>登坂委員長</p> <p>浅野病院財務課長</p> <p>増田委員</p>	<p>最後に、「その他」ですが、事務局から何かありましたらお願いします。</p> <p>本日は、長時間に渡りご議論いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>また途中の説明では不手際がございまして大変申し訳ありませんでした。次回の委員会では、本日、皆様に評価していただいた内容やご意見等をまとめたうえで、本委員会としての評価を確定したいと考えております。</p> <p>次回の開催につきましては、9月10日の木曜日10時からでござい予定したいのですが、委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。</p> <p>川崎市議会当日ではありますが、病院関係の質問が無ければ参加できると思います。</p>

<p>尾形委員 浅野病院財務課長</p>	<p>出席可能です。今回同様に遠隔での参加が可能ならば助かります。  それでは日程につきましては、追って連絡させていただきます。また、Web開催につきましても併せて検討させていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。  事務連絡は以上です。</p>
<p>4 閉会 登坂委員長</p>	<p>本日の議事は、以上をもちまして、すべて終了いたしました。  委員の皆様方のご協力、誠にありがとうございました。  本日は、これにて散会いたします。</p>